

「愛知県がん対策推進計画（第2期）」の推進に関する平成27年度の主な取組

県民の死亡原因の第1位であるがんの死亡率を減少させるとともに、がんになっても安心して自分らしく暮らせる社会の実現を目指し、がんの予防、治療等に係る対策を総合的かつ計画的に推進する。

基本方針：年齢・性・就労状況等に配慮したがん患者やその家族の方々の視点に立ったがん対策の推進

1 女性に特有のがん対策推進事業

「女性特有のがん対策専門会議（平成25年度開催）」による提言を踏まえ、対象者を絞った効果的な啓発のために、検診の受診推奨開始年齢の女性が多く所属する団体（大学、PTA等）と連携した啓発活動や女性が検診等を受診しやすい環境づくりのための医療機関に関する情報提供を行う。

がん専門医による講演会の開催 3回（大学2回、PTA1回）

PTA会員や女子学生を対象に乳がん・子宮頸がん検診を啓発するリーフレットの配布
女性が受診する際に参考となる医療機関の情報をホームページへ掲載（H25から継続）

平成27年6月現在：179医療機関掲載

乳がん・子宮頸がん検診の意義や内容をまとめたリーフレットの作成、周知

2 小児がん患者復学支援検討事業

小児がん患者に対する復学支援のため、主任養護教諭連絡協議会と連携して研修会を行う。

・日時：平成28年2月23日（火）、24日（水）

・内容：教育関係者、小児がん患者の保護者による復学支援の事例や課題についての講演

3 働く世代のがん検診受診促進事業

「がん患者就労継続支援・がん検診促進検討会議（平成25～26年度開催）」による提言（平成27年3月）を踏まえ、働く世代のがん検診受診率向上やがんに罹っても働きながら治療を続けられる環境づくりに向けた啓発活動を行う。

がん治療と仕事の両立支援に向けて留意すべき点をまとめた小冊子（企業の事業主・人事担当者向け）がん診療連携拠点病院で、がん診断時に担当医から患者へ渡す就労支援カードの作成、配布

がん予防やがん患者の就労継続支援をテーマとしたシンポジウム等の開催 2回

4 がん患者・家族に対する相談支援事業

がん患者の方々の悩みに対して、同じ目線で話を傾聴できるがん治療経験者による相談支援を行う。

- ・がん治療経験者による相談支援をNPO法人に委託して実施
(電話相談を毎月5回実施)

基本方針 : 県内どこに住んでいても病状に応じた適切ながん治療や緩和ケアを受けられるがん対策の推進

1 がん診療連携拠点病院関係事務

国が制度化しているがん診療連携拠点病院を国へ推薦し、指定を受けて地域におけるがん医療水準の向上とがん診療連携の強化を図っている。(17病院)

また、県独自に国指定制度に準じる要件をもって、がん診療拠点病院を指定して、がん診療体制の強化を図っている。(8病院)

今年度から、指定病院が有すべき機能等について、県が掲げた目標の達成状況や各病院の診療実績の情報をホームページで公開の予定。

厚生労働大臣指定のがん診療連携拠点病院

がんに関する手術、放射線、化学療法の集学的治療ができ、一定の診療実績があることに加え、緩和ケアや相談支援、地域の医療機関との連携等様々な要件を満たす病院で2次医療圏の拠点となる病院を、県が推薦し、国が指定。

愛知県指定のがん診療拠点病院

国指定の拠点病院の指定要件に準じる要件(診療実績要件のみ一部緩和)を満たす病院として県が指定。

(厚生労働大臣指定、愛知県指定ともに、診療報酬の加算有り。)

2 がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金

がん診療連携拠点病院が、診療機能、医療連携機能の強化や相談支援体制の強化を図るために要する経費に対して補助を行う。

- ・補助対象病院数 国指定病院のうち国から直接補助を受ける病院を除く12病院
- ・補助単価等 5,948千円(国1/2、県1/2)

【がん診療連携拠点病院等指定状況】

区分	国指定のがん診療連携拠点病院	県指定の愛知県がん診療拠点病院
指定期間	H27.4.1～H31.3.31	H27.4.1～H31.3.31
全医療圏	愛知県がんセンター中央病院	
名古屋	国立病院機構名古屋医療センター、 名古屋大学医学部附属病院 地域医療機能推進機構中京病院 名古屋市立大学病院 名古屋第一赤十字病院 名古屋第二赤十字病院	名古屋掖済会病院 (H27.4.1～H28.3.31(*)) 名古屋記念病院 中部労災病院 (H27.4.1～H28.3.31(*)) 名古屋市立西部医療センター(新規)
海部	愛知県厚生連 海南病院	
尾張東部	公立陶生病院 藤田保健衛生大学病院	愛知医科大学病院
尾張西部	一宮市立市民病院	
尾張北部	小牧市民病院	春日井市民病院
知多半島	半田市立半田病院(新規)	
西三河北部	愛知県厚生連 豊田厚生病院	トヨタ記念病院
西三河南部東	愛知県がんセンター愛知病院(新規)	
西三河南部西	愛知県厚生連 安城更生病院	刈谷豊田総合病院
東三河南部	豊橋市民病院	

(*)名古屋掖済会病院と中部労災病院は、「愛知県がん診療拠点病院指定要領」の整備要件の一部を満たさなかったため、既指定病院の経過措置を適用し、1年間の指定としている。

3 陽子線治療普及協力事業

陽子線治療の適応患者が円滑に陽子線治療が受けられるよう、診療所の医師を始めとした医療関係者、一般県民を対象に適応疾患等に関する知識普及を図る。

・陽子線治療に関する講演会の開催

基本方針 : がんの正しい知識の普及啓発・教育を通じて、がんの予防・早期発見を進めるがん対策の推進

1 がん検診普及啓発事業

市町村、連携企業と協働する等して、がんの予防やがん検診の普及啓発を行う。

受診啓発のポスター、リーフレットを市町村、連携企業に配布
がん検診受診促進キャンペーン月間、乳がん月間(10月)を中心に街頭啓発等を実施

2 がん検診従事者講習会の開催

がん検診の精度向上のため、各種がん検診に従事する者の資質向上を図ることを目的とした講習会を外部委託により開催する。

・大腸がん検診、胃がん検診エックス線撮影、乳がん検診、細胞診に係る従事者講習会を開催（各1回）

3 がん対策部会がん検診精度管理委員会の開催

がん検診精度管理委員会を開催し、市町村が行う各がん検診の精度管理を行う。

前年度の全市町村のがん検診実施結果を調査、集計して公表
胃、子宮、乳、肺、大腸の5部位の委員会を開催し、精度管理上の問題点を分析して市町村へ改善通知

基本方針：がんの研究等を踏まえたがん対策の推進

愛知県悪性新生物患者登録事業（がん登録事業）

がんの診断治療に関する情報を医療機関から収集して、がんの罹患率等を把握し、がん対策やがん研究の基礎資料とするとともに、結果を医療機関や県民に情報提供し、がん医療の向上やがんの予防啓発を図る。

なお、平成28年1月診断分からは「がん登録等の推進に関する法律」に基づく「全国がん登録」として実施する。

【届出状況】

年次	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
届出件数	32,950	34,998	36,151	50,013	52,187	58,135	57,070

【罹患数及び届出精度】

医療機関から提出された届出票のデータに、死亡票のうち死因が悪性新生物のもので届出されていないものを加えて、その年の悪性新生物の罹患数を算出する。

《罹患数及び届出精度の状況》

年次	罹患数 A(B+C)	登録数 B	死亡票のみの数 C	DCN(%) C/A
23年	41,000	35,424	5,576	13.6

DCN...がん罹患数のうち、がん登録により把握されず、人口動態調査の死亡情報により把握されたものの割合

がん対策の計画的推進

がん対策部会の開催（年1回）

がんに関する各分野の専門家で構成する同部会を開催し、がん対策に関する取組の状況と目標の進捗状況を報告した上で、がん対策に関して望まれる方向性等について意見聴取する。